

ひとよし市議会だより

2010 第65号 平成22年7月15日

発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページからでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.lg.jp>
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp

議会制度研究会中間報告

●委員長 立山 勝徳 ●副委員長 森口 勝之
●委員 松岡 隼人・豊永 貞夫・川野 精一・松田 茂
永山 芳宏・本村 令斗・仲村 勝治・下田代 勝

厳しい経済不況、それに連動する失業問題や雇用不安益々拡大する格差問題、さらに少子高齢化の進展やニーズの多様化など多くの課題に直面する中で、市議会のあり方や議員活動は今のままでよいのか。また、どうあるべきかなどについて議員自らが自主的に検証するために、昨年12月、議会制度研究会を設置し検証を進めてきました。研究会のメンバーは、各会派から選出された10名で構成し、会議を開催する時は正副議長も出席するようにしています。テーマは議員定数をはじめ報酬、政務調査費、費用弁償、行政視察費、一般質問、議会報告など議会と議員活動に関するあらゆるものを対象にしています。最初の会議の中で、議員を選挙で選ばれた市民の皆様方は、議会や議員活動についてどれくらい知っておられるのか、また、議会に対してどのような疑問や御意見を持っておられるのか直接話を聞くべきだとの意見が多くだされ、早速各市民団体にお問い合わせしたところ、快くお引き受けをいただき、2月26日の町内会長嘱託員連合会代表との意見交換会をはじめ、6月30日までの間に、民生委員児童委員代表、農業委員会、労働団体代表、体育協会代表、商工会議所青年部、PTA及び子ども育成会代表など、8団体の皆様と意見交換会を持つことができました。各々にお忙しい中での御理解・御協力



PTA及び子ども育成会代表との意見交換会

に感謝をいたします。このような取り組みをしています中に、4月13日町内会長嘱託員連合会と衛生員連合会理事の連名による申し入れ書が提出されました。その文書によれば、2月26日に町内会長嘱託員連合会代表との意見交換会をしたが、要望事項に対して進展がみられず不満である。よって申し入れに対する文書回答を5月15日までされなければ重大な決断をせざるを得ない。申し入れ事項は、(1)議員定数20名を16名にすること。(2)議員報酬(議員35万7千円、副議長38万円、議長41万6千円)を20%削減すること。(3)費用弁償、政務調査費を廃止すること等であります。議会としては、2月26日の連合会との意見交換会の席で9月までに結論を出すとして申し上げていましたので、その旨の文書回答をいたしました。

今後も日程調整がつくかぎり、多くの市民の皆様方と意見交換会をお願いいたしますので是非、御理解御協力をよろしくお願いいたします。

参加者を募集します!

～市民と市議会との意見交換会～

人吉市議会(議会制度研究会)では、報酬・定数・議員活動など議会のあり方について広く市民の皆様から御意見をいただくために「意見交換会」を開催いたします。下記の要領にて参加者を募集しますので、議会に対して御意見をお持ちの方はどしどしご応募ください。

- | | | | | |
|------------|------------------------------|--------|-------|--|
| ○期 日 | 8月25日(水) | 午後7時から | ○応募資格 | 20歳以上で市内に在住または勤務の方
(これまでの意見交換会に参加された方は除く) |
| ○会 場 | 市役所本館第一会議室(3階) | | ○応募期間 | 7月20日(火)～8月6日(金)
(受付:平日の9:00～17:00) |
| ○募集人員 | 20人(募集人員を超えた場合は抽選) | | ○応募方法 | 電話または直接議会事務局へお申し込みください |
| ○応募・問い合わせ先 | 人吉市議会事務局 電話 22-2111 (内線3312) | | | |

総務文教委員会報告

●委員長 下田代 勝 ●副委員長 川野 精一
●委員 西 信八郎・永山 芳宏・本村 令斗・仲村 勝治・大王 英二

本委員会は、条例案件8件、予算案件1件を審査いたしました。主なものをご報告いたします。

○人吉市民まちづくり応援事業条例は、市民が行う地域づくり事業について、1団体200万円を上限とし、年間400万円。協働推進事業（もやい事業）等で、年間約10件程度、100万円の助成を行うものであります。

○人吉球磨広域行政組合規約の一部変更は、カルチャーパレスの老朽化により、危険度が増し、緊急に舞台装置、空調設備等の大規模改修を行うため、基金を取崩し、財源に充てるための変更であります。

歳出予算の主なものは、

○総務管理の中で、地区公民館改修補助金に93万9千円

○企画費の中で、地域交通体系基金取崩しのため、拠出者の同意取付けのため、臨時職員雇用経費に73万2千円

○文教施設災害復旧費として、大村横穴古墳群落石崩土除去費に、259万円となっております。

いずれも現地調査を行い、厳しい質疑のうえ、慎重に審査の結果認める事に決しました。



大村横穴古墳群落石現場を視察する総務文教委員会

厚生委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 豊永 貞夫・笹山 欣悟・三倉 美千子・簗毛 正勝

本委員会に付託されました主なものをご報告いたします。＜予算案件＞ 平成22年度人吉市一般会計補正予算（第3号）の民生費で老人福祉費を90万円補正してあります。これは今年から敬老祝品として、百歳到達者に3万円、百歳超過者に1万円のところ今年に限り3万円を贈るものです。今年は全部で30名の方が対象者です。また児童福祉費で415万4千円の補正は、これは子どもの駅事業の予算で、イスミの3階で行っていた九ちゃんクラブ（つどいの広場）をオリンピック横の「健康館」跡に移し事業を拡充するものです。衛生費の保健衛生費で、372万7千円の補正は女性特有のがん、子宮頸がん乳がんの検診委託料等です。＜陳情案件＞

「休日歯科診療に関する陳情」は、市民の休日歯科診療のニーズの現状や、県下14市の歯科診療の現状の説明を受け、休日歯科診療の必要性を認識し、全会一

致で採択いたしました。「現行保育制度の維持と子育て支援施策の拡充について国への意見書提出を求める陳情」も全会一致で採択しました。



鬼木地区污水枝線工事現場を視察する厚生委員会

経済建設委員会報告

●委員長 森口 勝之 ●副委員長 松田 茂
●委員 井上 光浩・村上 恵一・福屋 法晴・立山 勝徳・山下 幸一

本委員会は、今議会次の案件を審査いたしました。

①人吉市携帯電話等エリア整備基地局の設置及び管理に関する条例の制定について ②人吉市携帯電話等エリア整備事業分担金徴収条例の制定について ③工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について ④損害の賠償について ⑤市道路線の廃止について ⑥市道路線の認定について ⑦専決処分の承認を求めることについて ⑧平成22年度人吉市一般会計補正予算 ⑨平成22年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算

以上9案件について現地確認調査を行い慎重審査の結果、全9案件とも認めることに決しました。

内容の主なものでは、専決処分案件の口蹄疫対策費であります。これは、口蹄疫の発生により深刻な影響を受けている畜産農家の経営に必要な資金として、市

独自の施策で畜産農家1戸当たり30万円を限度として無利子で貸し出すものです。総予算は4,200万円となっております。



人吉橋橋梁補強・補修工事について説明を受ける経済建設委員会

球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会

●委員長 山下 幸一 ●副委員長 村上 恵一
●委員 井上 光浩・豊永 貞夫・川野 精一・森口 勝之
田中 哲・本村 令斗・下田代 勝

本特別委員会は、「国土交通省及び熊本県との意見交換会」「新・人吉市洪水ハザードマップについて」の2項目についての審議及び、現地視察を実施いたしました。

国土交通省及び熊本県との意見交換会においては、第6回までの「ダムによらない治水を検討する場」において示された球磨川治水対策についての質問事項を10項目に取りまとめ、5月7日に八代市の国土交通省八代河川国道事務所におきまして、国土交通省及び熊

本県と意見交換会を行いました。意見交換会では、第7回の「ダムによらない治水を検討する場」についての説明を国土交通省から受け、その後質問事項に対して国土交通省及び熊本県から、それぞれの立場で回答をいただきました。

また、新・人吉市洪水ハザードマップについては、市執行部から内容の説明を受け、県管理の小河川改修箇所や避難行動を円滑に行うために設置された水位計設置箇所など、6箇所の現地視察を行いました。

公益的施設の適正配置に関する特別委員会

●委員長 立山 勝徳 ●副委員長 三倉 美千子
●委員 松岡 隼人・笹山 欣悟・西 信八郎・松田 茂
永山 芳宏・福屋 法晴・仲村 勝治

◎人吉総合病院の建替えについて

(1) 総合病院が老朽化と耐震化のため建替えを計画され新移転地に市有地の相談があり、市は3ヵ所の候補地を定め検討、議会は特別委員会を設けて対応。(2) 耐震化交付金を受けて移転新築するなら現施設の全部解体が条件と判明。(3) 新しい健康管理センターは残すとしていた病院は、全部解体しての移転新築か、残して現在地建替えか二者択一となった。(4) 熟慮の結果、現在地建替えを選択。(5) 現在地は狭いので工事期間中、近くにある市有地の借用と、病院北側の市道

の拡幅を要望された。市は元ハローワーク跡地は貸すことが可能、市道拡幅は用地の提供があれば可能と回答、病院も了承。

◎元中津留美術館の活用について

(1) 図書館建設を目的に購入したが建設か、除外か。図書館建設は断念し現カルチャーパレス図書館の充実を図る。(2) よって図書館建設以外の活用を検討する。(3) 隣接3町内から売却反対の陳情書が提出された。概略以上のような課題について審査を進めて来ました。

予算委員会

●委員長 三倉 美千子 ●副委員長 井上 光浩
●委員 全議員

本委員会は、歳入について審査をいたしました。専決処分の主なもの、前年度繰越金3,740万円。口蹄疫緊急対策資金貸付金元利収入560万円の増額補正です。一般会計の補正は4,881万円を追加し138億4,862万3千円とするものです。委員から熊本県「生きる

力」を育む研究指定校10万円は、市が指定校を選ぶのか等の質疑がありました。いずれも全会一致で原案どおり決しました。

議会運営委員会

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 西 信八郎
●委員 松岡隼人・福屋法晴・森口勝之・田中 哲・立山勝徳・下田代勝

6月定例会においては、採決・閉会までに、①提出予定議案、陳情（大塚小学校の廃校及び社会教育施設としての利用に関する陳情、元中津留美術館跡地の有効活用に関する陳情）、会期日程案、議案質疑及び一般質問の取り扱いについて、②追加議案、人吉球磨広

域行政組合規約の一部変更について、③陳情、委員会付託、閉会中の継続審査について、④陳情について、⑤討論について、⑥意見書、9月定例会会期日程案について審議しました。

一般質問

医療観光と東アジア戦略

松田 茂

問 ツーリズムの概念とは。

答 自然、文化、人々の交流を楽しむ滞在型の余暇活動、人々との交流といったものがキーワードとなっていると考ええる。

問 ツーリズムの本市の取組み状況はどうなっているのか。

答 本市はグリーンツーリズムにおける交流をキーワードとして大学生のインターン体験事業の実施や各種イベントにも参加をし、広く周知を図っている。

問 医療観光の観点から、本市の医療機関の現状、その充実度は。

答 内科・歯科を合わせて七十九の医療機関があり、一般的に実施されている検診には対応できる。またその充実度は高い水準である。

問 本市では今後医療観光について、どのように考えていくのか。

答 九州全域を捉えながら、中国の富裕層をターゲットに様々なツアーを企画していくのは有望なものと考えられる。先端医療と九州の温泉や水といった自然環境を組み合わせていくのは、今後十分可能性があると考えられる。

肥薩線一〇〇周年から新幹線開業に向けて

立山 勝徳

問 新幹線開業のチャンスを生かすか。市長の構想は。

答 日経新聞の初夏に乗りたいたい列車のアンケートで、SL人吉が一位、いさぶろう・しんぺい号九位。超スピードの新幹線と超スローなSLを演出して活用する。

問 山線でD51を走らせる戦略は。

答 JR九州の石原会長、唐池社長にお会いし調査検討をお願いし、国交省からも助言を頂いている。また地元熱意を示すことが重要。人吉、えびの、湧水の足並みは揃っている。

問 クリアーすべき課題は。

答 ◎D51本体の状況、◎線路や鉄橋などの走行施設、◎検査修繕、燃料給水などの施設、◎乗務員、検修要員、燃料係などの要員確保などがある。

問 経費の試算は。

答 JRの試算で、D51復活に四、五億円、線路鉄橋、検修施設、他運営費などで十五億円程度。

問 運動の展開は。

答 まず署名運動から始め、募金運動につなげ盛り上げたい。

※この他に、口蹄疫感染問題、雨期直前の災害対策について質問。

口蹄疫伝染病について

永山 芳宏

問 口蹄疫とはどのような病気なのか。症状は。

答 家畜の伝染病の一つであり、牛・豚・ヤギ・羊・鹿・猪などひづめが二つに割れている偶蹄類に感染する口蹄疫ウイルスによる感染症で、強い感染力があり、家畜伝染病予防法において法定伝染病に指定されている病気。症状として発熱や多量のよだれが見られ、舌や口の中、ひづめの付け根などに水泡が形成され、食欲もなくなる。

問 市で発生した場合の対応手順や畜産農家への経営対策は。

答 対応手順は、家畜伝染病現地防疫対策本部を設置し、発生農場の隔離指示、また立ち入り規制を行い、移動規制班や消毒ポイントを設置。発生農場の消毒が実施され、すべての家畜の殺処分を行って埋却する。埋却費用の全部または一部を国が負担する。経営対策として、本市においては、市内の全畜産農家を対象に生活資金など運転資金に対し無利子等で融資を行う口蹄疫緊急対策資金貸付制度を創設。貸付限度額は三十万円。

地デジ問題と市街地活性化への道筋

田中 哲

問 平成二十三年七月二十五日から、地デジ放送が始まるが、難視聴地域で突然テレビが映らなくなるといった地デジ難民が出る恐れはないのか。対策は。

答 人吉市と総務省とで、難視聴地域解消のため、共聴施設やアンテナ対策などの対応を進めた。周知活動については「広報ひとよし」や閲覧板でのお知らせ、地デジ説明会の開催、臨時相談窓口の設置。また暫定的に（平成二十七年）までに衛星放送による地デジ放送を行う。

問 林副市長の二年間の総括と中心市街地活性化への道筋は。

答 昨年、中心市街地活性化を進める上で、新たに制定された地域商店街活性化法による支援と昨年度の国の補正予算を活用し、西九日町アーケード撤去や軽トラック市、きじ馬スタンプのカード化によるシステムの導入、携帯電話を活用したメール配信事業を行った。民間のまちづくり団体の活動に参画することで街中の新たな動きを誘導できている。田中市長とは時々喧嘩もし、全力で支えていく。

便利になったタウンバスの実績と今後

村上 恵一

問 九州産交グループの肝いりで運行しているタウンバス「じゅぐりつと号」とさるく人吉「のこれ」までの運行状況と、一カ月フリーバス定期券の利用はどうか。

答 じゅぐりつと号は三月から五月までの三カ月で三千四百三十二名、さるく人吉は三月から運行開始だが、徐々に増加しており五月で九百六十名であった。フリーバス定期券は通学利用は増えつつあるが、通勤は低迷している。

問 フリーバス定期券を、大畑の路線や鹿目の路線などの他の路線でも使用できるようにならないか。

答 利用者のサービス向上につながるよう、産交バス株式会社と協議をしていきたい。

問 タウンバスが走っているのは知っているが、どのようなルートでバス停がどこにあるのかを知らない市民が多いので、しっかり周知をやってほしい。

答 産交バス自ら、学校に向向いて周知に努めたり、町内の老人会に向向き説明と試乗会を行いいたいとのことだった。

高齢者の買い物弱者

対策について

川野 精一

問 買い物物が困難な高齢者への対策は。

答 福祉面では、国の補助を受け昨年から三カ年で実施する「安心生活創造事業」で、見守り・買い物支援等の基盤支援を行い、ニーズに合った支援体制を構築する。また、交通面では、六月下旬の「人吉市地域公共交通会議」で、バス路線等の交通空白地域の見直しを行い、整備を進める。

問 脱ゆとり教育における教育長の考えと新教科書の採択は。

答 「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「特別支援教育の充実」の三点を、特に取り組んでいく。教科書内容の三割増加は、ゆとり教育で削減された分の回復。デジタル教科書や、電子黒板等のICT活用を検討。

問 市長の新政支援組織への参加理由は。

答 日本創新党の応援首長連合は、政策提言集団であり、自身は党员ではなく、今も無所属である。

※他に、行政管理下の害虫駆除について質問を行いました。

消費生活センターの

取組状況について

笹山 欣悟

問 平成二十一年八月に消費生活センターを開設しているが、これまでの実績はどうか。

答 昨年四月にくらし安心相談係として相談窓口が一本化され消費生活センターが開設されるまでの四カ月間で百四十七件、消費生活センターが開設されてからの八月から翌年三月までの八カ月間で五百四十二件、合計六百八十九件の相談があった。相談内容の割合は、契約問題が十一・九％、家庭問題が十一・五％、金銭問題が九％と上位を占めている。

問 消費生活センター長は、だれか。

答 現在、センター長は設置していない。今後、センター長の設置に関する事項を含めて、関係規定の整備を進めたい。

※その他、市長等及び職員の倫理の確立に関する規則の制定、口蹄疫緊急対策資金貸付、農産物ブランド化と地産他商推進室の設置、公共サービス基本条例の制定、住宅用太陽光発電システム導入設置費補助について質問しました。

県下一高い国保税の

引き下げを

本村 令斗

問 平成十五年度と二〇年度に国保税が引き上げられ、①人吉市の一人当たりの保険税は、県下で何番目に高いのか。②多くの方が、保険税を払えず滞納していることが危惧される。保険税の収納率は、県下四七市町村のうち何番目に高い収納率か。

答 ①県下一高い ②四六番目

問 滞納により、多くの方が無保険に追い込まれているのではないかと。値上げの影響を受ける平成二十一年度に、①病院で一度全額払う資格証明書の発行世帯数、②短期保険証交付世帯の方で、市役所に行けずに、無保険になっている世帯数はいくらか。

答 ①七九世帯 ②三五六世帯

問 市長は、県下一高い国保税で多くの無保険者を生み出していることをどう認識しているか。

答 国保税を、引き下げるべき。

答 大変由々しき事態。医療費が増加する中、引き下げは困難。様々な検討を行なわなければならない。

※ダムによらない治水対策、口蹄疫、子どもの医療費助成、農免道路の歩道設置についても質問しました。

大畑駅、矢岳駅振興策

について

井上 光浩

問 大畑駅、矢岳駅での特産物販売状況はどうなっているのか。

答 大畑駅では四月下旬から販売を始め、主に土曜、日曜、祝祭日に地元産品の干し椎茸、山菜米、お茶、野菜等販売している。

問 売り上げ状況は、マイカーでの観光客が三分の二、列車利用客が三分の一。矢岳駅では列車から降りてSL展示場を見る人が購入している。

問 以前にも大畑駅の停車時間延長を要望していたが停車時間間の延長は出来ないのか。

答 肥薩線利用促進存続期成会を通じ停車時間延長を要望したい。

問 アプランテシユ市青少年派遣事業においてなぜ中学生が負担なし、高校生・専門学校生が負担ありなのか。

答 多くの生徒が応募できる環境をつくるために、義務教育では負担なしと選考基準の検討会で決定した。

問 近隣諸国との都市交流を行う考えはないのか。

答 産業交流との観点で進めたい。※「D51」復活運動を質し、口蹄疫防止策の強化を要望した。

安心・安全市民生活

について

福屋 法晴

問 校区コミュニティセンターの利用者の状況について。

答 総利用者は、八万八千九百七十三人で、そのうち東西コミュニティが全体の約半数である。

問 東西コミュニティの体育施設に、外部からの視線や反射光・外部への騒音防止に対し暗幕の設置は出来ないか。

答 暗幕には、危険防止・遮光・騒音防止効果があり、今後コミュニティの状況に応じて、可能な処置を講じていきたい。

問 第一中学校にナイター設備をつくれぬか、また地域や関係団体への調査はされたのか。

答 サッカー、ソフトボールの代表者に利用状況や意見を聞いたが、あれば利用しやすいが、特に夜間施設が不足しているとの意見はないとの回答であった。

問 国道二六七号蓑野橋架け替え工事の早期完成を熊本県に對し要望して頂きたい。

答 少しでも早く完成できるように球磨地域振興局に要望してまいりたい。
※その他、まちづくり親善大使について質問いたしました。

総合計画と大村横穴群
の崩落について

松岡 隼人

問 今国会に「地方自治法の一部を改正する法律案」が提出されており、その中に、市町村の基本構想に関する規定を削除する案も含まれているが、総合計画策定に関する本市の考えは。

答 これまでの総合計画にとらわれないで、実務型の計画を首長選挙後に策定する予定。進捗状況と今後の予定は。

問 現在、アンケート調査を行っている。法改正や他自治体の状況を見ながら進めていく。議会との関わりと説明は。

問 方針を早目に提示し、議会にも相談しながら進めていく。大村横穴群西端の崩落を受けて、周辺にお住まいの方の安全性を確保するという観点から、本市の考えと対応策は。

答 早目の避難誘導と避難所の確保を行う。また、現在は、岩盤は安定していると判断しており、定期的に観察し、予兆が見られたら早目に対応する。今後は、人命尊重を優先しながら、文化財の価値を損わないよう、国・県及び関係機関と協議を行いながら検討していく。

石野公園を子供の国に！

仲村 勝治

問 石野公園の展望所ができた目的と事業費、利用状況について。

答 公園全体を見渡せる展望所、土地を象徴する建築物として建設、一階は多目的に使える休憩所。事業費については、一億二千四百万円、展望所単独の入場数は把握できていない。

問 広島県神石郡神石高原町にはとよまつ紙ヒコキ・タワーが紙ヒコキを飛ばすために専用のタワーとして建設されている。石野公園展望所を紙ヒコキ・タワーとして利用できないか。

答 とよまつ紙ヒコキ・タワーは、子供の背丈、安全面を十分考慮されている。石野公園展望所を紙ヒコキ・タワーとして利用する場合は、展望所の手すりは、高学年には低いため、利用するのは難しい。安全面の改修が必要である。公園の新しい利用として検討に値する。

問 石野公園全体を子供の遊びを主とした公園にできないか。

答 チビッコ広場やアスレチック広場を幼児・児童の利用箇所と位置付け、遊具の補充等を行い児童が遊ぶ場所も検討する。

カルチャーパレス改修、
移管等について

下田代 勝

問 カルチャーパレス大改修のために基金（十億二十万円）の一部を取崩す経緯は。他の条項（議決の特例）の改正等理事会で検討したのか。今回の変更対象は、内部設備改修が主となっているが、建物本体は。改修費は八億五千万円で、九十%、七億五千万万円は人吉市負担となるが財源は。今後、移管された場合、市有財産としての維持・補修費は。広域機能はどんな形で残すのか。人吉市への移管後の管理体制は。

答 築後二十五年経ていて、舞台装置、空調等に危険度が増し、緊急を要した。市町村財政も逼迫し、県とも協議して規約改正に至った。他の条項改正及び建物本体改修については、理事会では協議していない。市費負担分は起債で対応。今後の維持補修は、市費となるので検討を進める。広域機能は町村と協議。

人吉市へ移管後は、当面直営とし、民間委託等を検討する。

※その他にキクラゲ生産体制の確立、豊富な植物資源（珍種・希少植物）の活用を質しました。

がん検診無料
クーポン券について

豊永 貞夫

問 がん検診の受診率を上げるため、女性特有の「乳がん」「子宮頸がん」に対して、無料クーポン券を特定年齢対象者へ配布されました。受診率の結果、受診者の感想は。

答 共に前年度より増加傾向の結果となった。感想としては、「無料券がきたので初めて検診した。検診手帳を読んで予防の大切さが分かった。」などがあり、受診率向上へのきっかけづくりに繋がったと思われる。

問 その他の「肺がん、胃がん」などのがん検診の状況と受診率向上への対策は。

答 いずれのがん検診とも、受診率に大きな伸びはなく横ばいの状況。受診率を上げるため、治療や検査への不安、経済的な不安などを解消するためにも、検診の重要性などの啓発に努める。

問 高齢者が、運転免許証を自主返納された場合、身分証明書代わりに用いられる顔写真付き住民基本台帳カード（住基カード）を無料発行してはどうか。

答 今後慎重に検討したいと思う。

治水対策、市の財政状況
等について

森口 勝之

問 人吉地点の治水安全度が現状五分の一定程度である以上、喫緊の課題は避難体制の充実である。最も大事なことは「迅速で正確な情報伝達手段の確立」であり、特に危険地帯への防災行政無線の設置に向け国の交付金制度を積極的に活用すべきではないか。

答 防災行政無線は、防災・減災にとつて非常に重要なものである。国の社会資本整備総合交付金はハードルが高い部分もあり、新たな可能性を探りながら、今後も国・県に支援を訴えていく。

問 財政健全化比率の四指標、經常収支比率、財務諸表からみた市の財政状況についての判断と今後の財政運営の心構えは。

答 厳しい財政状況ではあるが、この数年で財政再生計画や早期健全化計画を策定するような団体に陥ることはない。健全な財政運営を行うためには自主財源の確保が肝要であると考ええる。

問 人口約九万八千人で、十の自治体がある人吉球磨地域は自治体仕分けの対象となり得る。この地域の将来展望について。

答 各施策への一体感が重要である。

平成21年度政務調査費収支報告書

政務調査費とは・・・議員の調査研究に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

氏 名	収 入	支 出								
		研 究 研修費	調 査 旅 費	資 料 作成費	資 料 購入費	広報費	広聴費	人件費	事務所費	合 計
松岡 隼人	240,000	12,101	65,116	0	20,889	135,509	0	15,000	4,205	252,820
井上 光浩	240,000	0	70,116	0	63,655	10,010	0	0	58,407	202,188
豊永 貞夫	240,000	0	0	43,364	148,136	0	0	0	0	191,500
川野 精一	240,000	60,600	64,447	0	109,125	0	0	0	0	234,172
笹山 欣悟	240,000	3,200	79,607	0	17,100	155,835	0	0	30,536	286,278
村上 恵一	240,000	0	211,709	0	3,100	15,750	0	0	0	230,559
西 信八郎	240,000	59,420	65,116	0	125,634	0	0	0	0	250,170
松田 茂	240,000	0	236,016	0	7,200	0	0	0	0	243,216
永山 芳宏	240,000	0	115,558	0	100,280	4,060	0	0	0	219,898
福屋 法晴	240,000	0	99,082	105,370	24,449	0	0	0	0	228,901
森口 勝之	240,000	0	124,868	0	12,150	0	0	0	86,886	223,904
田中 哲	240,000	0	197,220	18,299	8,460	0	0	0	26,600	250,579
本村 令斗	240,000	2,500	79,607	11,682	36,625	7,470	0	0	120,000	257,884
立山 勝徳	240,000	96,187	0	7,414	45,220	63,800	0	0	24,000	236,621
仲村 勝治	240,000	49,980	141,647	2,350	48,473	5,460	0	0	11,177	259,087
三倉 美千子	240,000	64,940	128,000	17,016	59,470	7,810	0	0	0	277,236
山下 幸一	240,000	0	197,218	0	78,180	0	0	0	0	275,398
下田代 勝	240,000	0	217,118	0	19,840	0	0	0	7,580	244,538
簗毛 正勝	240,000	0	70,116	8,925	58,780	0	0	0	0	137,821
大王 英二	240,000	0	0	0	38,700	0	0	0	0	38,700
	4,800,000	348,928	2,162,561	214,420	1,025,466	405,704	0	15,000	369,391	4,541,470

注) 政務調査費の交付額は月額2万円

当初から収支報告書には金額の多寡を問わず領収書の写しを添えて提出することと定めています。

支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありません。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません

請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果 に つ い て

委 員 会	請 願 ・ 陳 情 の 内 容	審 査 結 果
総務文教委員会	改正国籍法に関する意見書の提出を求める陳情	継 続 審 査
	多目的運動広場建設に関する陳情	継 続 審 査
	大塚小学校の廃校及び社会教育施設としての利用に関する陳情	継 続 審 査
厚生委員会	介護保険制度見直しに関する陳情	継 続 審 査
	休日歯科診療に関する陳情	採 択
	現行保育制度の維持と子育て支援施策の拡充について国への意見書提出を求める陳情	採 択
公益的施設の適正配置に関する特別委員会	元中津留美術館跡地の有効活用に関する陳情	継 続 審 査

全国市議会議長会 表彰受賞

市政振興の功績が認められ、今回簗毛正勝議員が全国市議会議長会会長から議員15年表彰を受けました。6月定例会において表彰の伝達式を行いました。

●子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチンと肺炎球菌ワクチン及び子宮頸がんワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書

この意見書は三月定例議会で全会一致で可決をいたしました。一般質問等でも必要性を求め議論がされており、子どもたちや女性の生命を守るための施策として、国において責任を持って対応をすべき問題で一日も早く実現されることを求めるものであります。国に対しての要望項目は次のとおりです。

1. ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種に対する公費助成を早急に実施すること。
2. ワクチンの有効性、安全性を評価した上で、予防接種法を改正し、ヒブや肺炎球菌による重症感染症（髄膜炎、喉頭蓋炎、敗血症）を定期接種対象疾病（二類疾病）に位置付けること。
3. 子宮頸がんHPV予防ワクチンの接種について公費助成制度を創設すること。
4. ワクチンの安定供給のための手立てを講ずること。
5. ワクチン接種の有効性について啓発を推進し、ワクチン接種の普及促進を図ること。

●口蹄疫対策の強化、充実を求める意見書

五月十一日に開催されました、臨時市議会において、四月二十八日にえびの市で発生確認されました口蹄疫対策の意見書を全会一致で可決をし、十三日には、熊本県及び県議会に対して、農家の不安解消、関連産業に対する支援策、また観光客を含め交流人口が多い特性を踏まえ、一般車輛に対する検疫強化を求めています。なお、国、県に対する要望事項は次のとおりであります。

1. 予防対策、まん延防止対策の強化を図ること。
 2. 発生原因の早期究明を図ること。
 3. 被害農家に対する支援対策の充実を図ること。
 4. 風評被害防止対策の強化を図ること。
- 以上、二意見書につきまして、七月二十七日に開催されます南九州中部市議会議長会（えびの、小林、伊佐、人吉）議員研修会で採択をし、国に対して要望活動を行うてまいります。

他に三月・六月定例会では、次の意見書を可決し、内閣総理大臣や衆・参両院議長など関係機関へ提出しました。

- 国営川辺川総合土地改良事業の促進に関する意見書
- 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書
- 現行保育制度の維持・拡充と子育て支援施策の拡充を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書

【議会の主な行事】（平成22年4月～6月）

6月										5月										4月									
30日	22日	18日	17日	16日	15日	10日	3日	2日	1日	28日	25日	24日	24日	20日	19日	11日	10日	7日	28日	27日	26日	22日	16日	14日	13日	8日	5日	2日	
・意見交換会 議会報編集委員会、議会制度研究会 ・意見交換会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員協議会 子算委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、総務文教委員会 ・厚生委員会・経済建設委員会 議会運営委員会、全員																													

編集後記

今年の梅雨は、しとしと降る雨で始まりました。季節に合った天気、ほっとしている雨に、後半は災害でも起きそうな雨に心配しています。梅雨の天気は、本当に予測が難しいものです。

六月議会においては、多くの議員が、感染拡大や農家の経営状況が心配される口蹄疫の問題について一般質問をしました。その期間中に、都城市などでの感染のニュースが飛び込んでくるなど、緊張感のある情勢の中の議会でした。

議員の切り口は様々で、地域の状況や畜産の経験、国や県に行った要望などを基に、それぞれの立場で質問がなされました。このように一つの問題に対しても、多角的な視点から議論がなされることは、議会として大切なことだと感じております。

ともあれ口蹄疫が一刻も早く沈静化し、畜産農家の方々の経営状況が、早期に安定されるよう願っております。

（文責：本村 令斗）

【議会報編集委員会】

- 委員長／大王英二
- 副委員長／養毛正勝
- 委員／松岡隼人 井上光浩
- 松田 茂 田中 哲
- 本村令斗 下田代勝

次の定例会は九月です